

あわ探ク

今年もやるぞ！

マツタケを探せ！

10月8日（土）保護者にも大人気の企画「マツタケを探せ！」を実施。今回も旧東栗倉のこども達9人をあわせ総勢35人がマツタケ探しに挑みました。さてさて今年の成果は…？



自然は本来厳しいのです！



道なき道を、かき分けて

マツタケ！？
いえいえこれは毒タケです！



一本も無いよー！



でも、みんな笑顔の記念写真

おかわりに群がる
食いしん坊たち！
とりあえずお腹は
一杯になったかな？

見よ！華麗な包丁さばき



でも、マツタケは×××産…



待ちきれずに生
ソーメンをむさ
ぼる！

あー！暖かい



お味の方は、それなりに…

お代わり！お代わり！



「去年はあんなに採れたのに…」と、自然の厳しさをかみしめながら、×××産マツタケのお吸い物をいただきました。来年は天気に恵まれますように。また、こりずにいくぞ！

中国自然歩道歩こう大会 紅葉の若杉天然林

10月30日、毎年恒例の「中国自然歩道歩こう大会」が、秋の若杉原生林を舞台に開催されました。

「若杉天然林」は、氷ノ山後山那岐山国定公園の特別保護地区で、森林浴の森日本百選の一つにもなっています。

約6キロのコースを村内はもちろん、県南や兵庫県、鳥取県など遠くからも申し込みがあり、約230人の方の参加がありました。

午前10時、若杉天然林駐車場に集合、思い思いのペースで遊歩道を歩き始めました。当日は紅葉の真っ盛り、赤や黄色の落葉が遊歩道を敷き詰め、ほかほかのじゅうたんの上を歩くようでした。

ブナやミズナラの大木の林を抜け、氷ノ山が雄大な姿を見せてくれる若杉峠付近で昼食をとり、午後からは、鳥取県との県境の眺めのいい尾根を、秋のさわやかな風に吹かれながら進みました。

ゴールでは、サービスのナメコ汁をおいしそうに食べられました。

参加者全員がさわやかな秋空の下、紅葉の若杉を満喫されたことと思います。

